

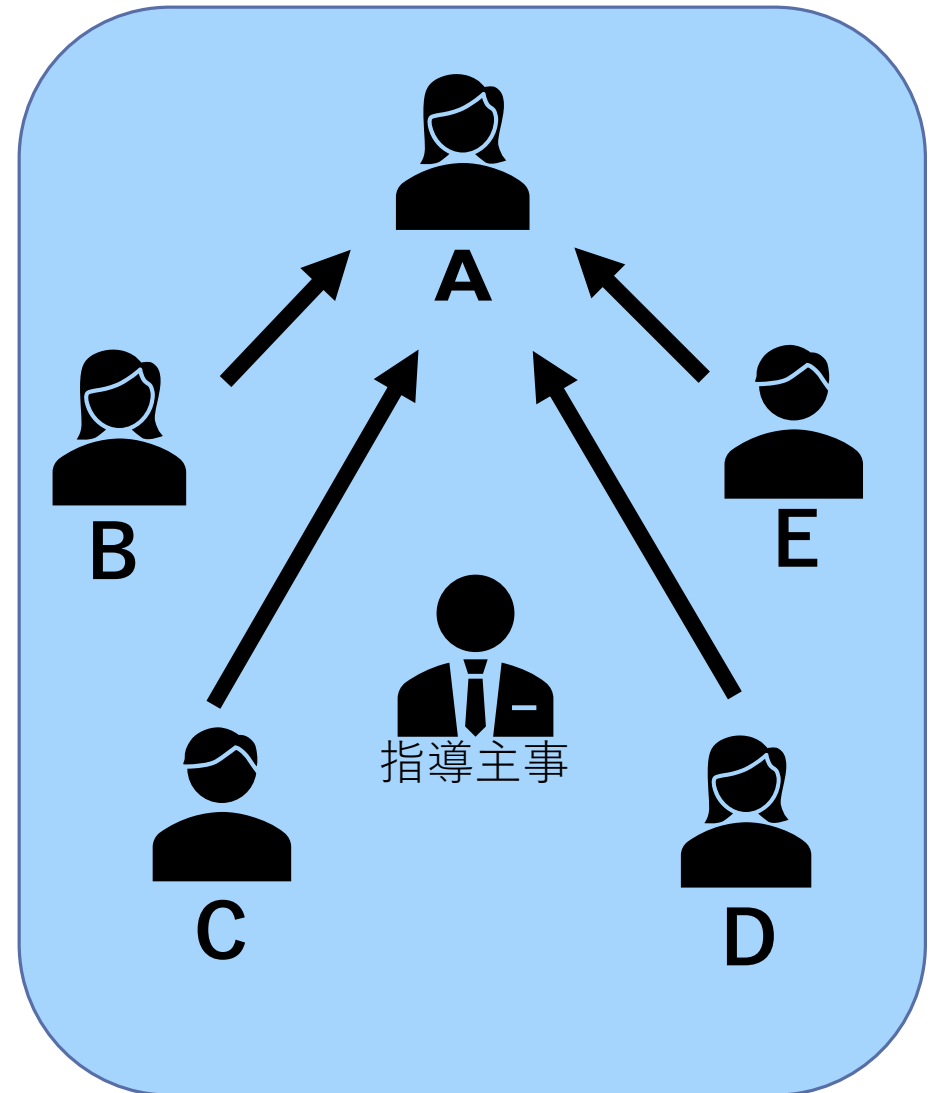
令和6年度初任者研修

相互参観研修(共通)【高等学校】

「相互参観研修(共通)」とは

他の初任者が行う「所属校における授業研究」に参加し、授業参観及び協議会を行う研修。

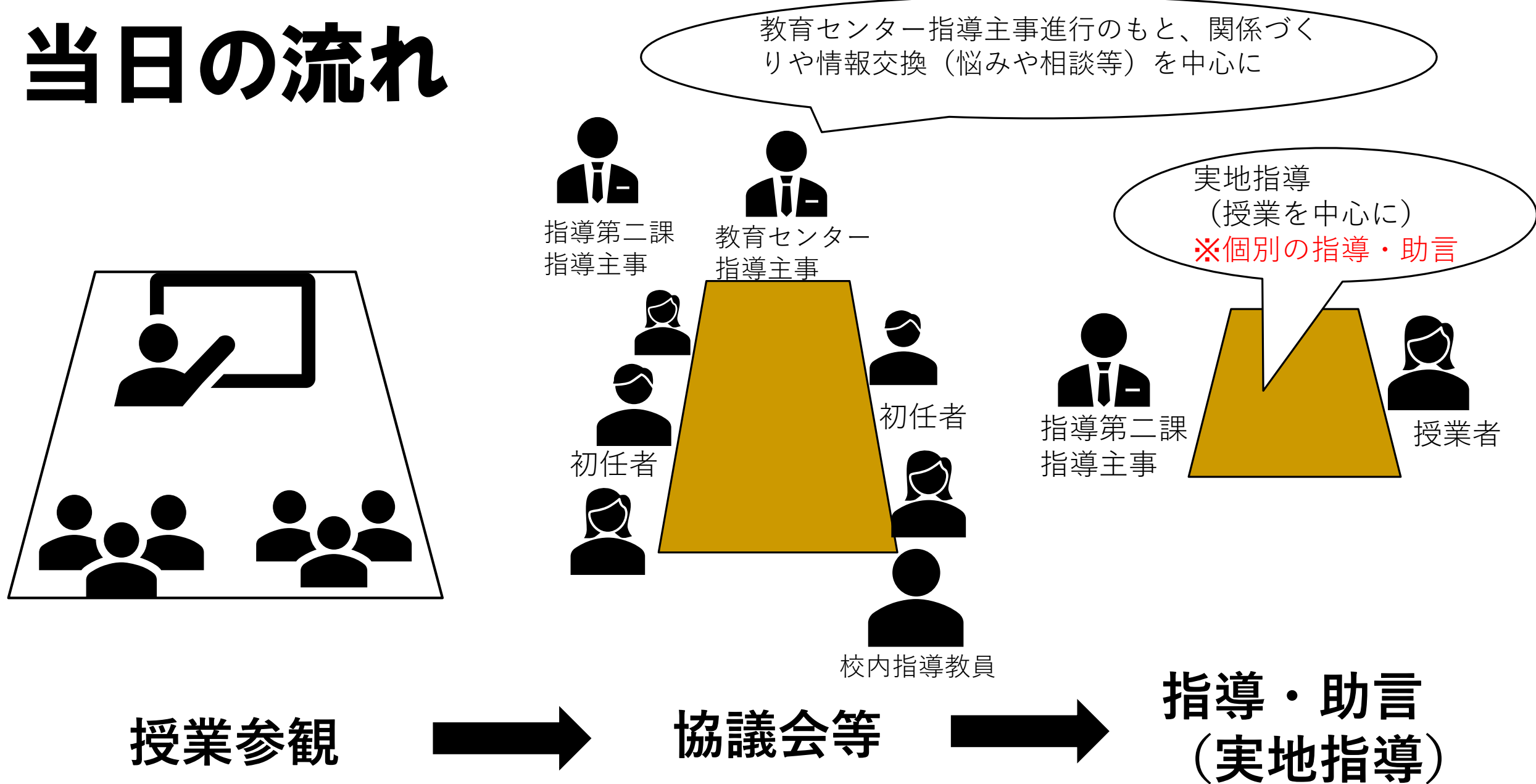
(年間1回)



相互参観研修(共通)のねらい

- ・ 悩みや不安を共有できる 初任者同士のつながりをつくる。
- ・ 授業改善の視点を得る。


当日の流れ




※ 授業参観当日、やむを得ない事情で欠席した初任者は、欠席届を提出する。

相互参観研修(共通)実施までの流れ


① 「所属校における授業研究（実地指導）」訪問日の決定後、指導第二課指導主事が初任者研修グループの中から、相互参観研修の授業者を決定する。



② 指導第二課指導主事が、担当校の所属長（必要に応じて校内指導教員）と相談し、グループの初任者が全員参加できるように、各校の学校行事等を確認の上、「相互参観研修（共通）」の日程を決定する。



③ ①②が決定した後、指導第二課指導主事は、教育センター指導主事へその旨を連絡する。



④ 教育センターが、「相互参観研修（共通）実施届」を作成するとともに、グループの所属長に日程及び授業者を知らせる。